

誰もが働き易い職場環境を作り、職場の知的生産性を高める  
離職やメンタルヘルス問題を未然に防ぐ実践&体験型研修

新採用・若手・中堅・管理職等 全階層対応型

コミュニケーション問題を解決し、創発・共創環境をつくる

# JIBUN WORK Biz

じぶんワーク®Biz based on IDEA Theory

「じぶんワーク」は、一般財団法人ひらめき財団の研究成果であるアイデア理論を基礎として独自開発された研修コンテンツ&登録商標。「じぶんワークBiz」は、ビジネス向け研修カリキュラムです。

2017-2024年の沖縄県内での受講者は約5,000名

沖縄県庁・沖縄県市町村研修センター・沖縄県各市町村 (敬称略)  
沖縄県経営会者協会・沖縄県商工会議所、商工会連合会



沖縄県庁



那覇市役所

この島の損保。  
大同火災

沖縄セルラー  
OKINAWA CELLULAR



RYUSEKI

PEOPLE'S BANK

沖縄銀行



沖縄ガス



株式会社 國場組



2013-2024年 県外での導入実績

パナソニック・東京電力・アップル日本法人・リクルート・ヤフー  
凸版印刷・エンジャパン・NTTデータ・朝日生命・インテリジェンス  
東京都・京都市・会津若松市・商工会議所・商工会・国公立大学

# 企業さま社員研修採用の背景

2020年からの歴史的な社会情勢の変化から各企業さまに於いても、**課題解決・新しい挑戦**が、より**重要視・必要**とされつつあります。

社員の方が、仕事や担当業務を進める中で、**前向きに変化や挑戦に取り組める職場づくりと環境整備の推進が課題**となっています。

## 変化や挑戦に取り組める環境整備とは？

**課題や目標達成の実行率が高まる支援をする。**

### **悩み① 実行のやる気が出ない**

- ・ **自分ゴトとして諦めず取り組める。**

### **悩み② 具体的なやり方がわからない**

- ・ **具体的にアイデア化できる。**

### **悩み③ 周囲から協力してもらえない**

- ・ **周囲から協力、協働してもらえる。**

**上記の3点を支援サポートする全階層対応の人材育成研修として採用されています。**

## 研修受講の目的と必要性

**誰もが働きやすい職場づくりと職場の知的生産性向上  
この2つが両立する知識と手法を体験習得します。**

誰もが働きやすい職場 ▶ 理解、承認、信頼、実現  
職場の知的生産性向上 ▶ 課題解決、新しい挑戦

## 実は！この2つの両立が難しい理由

**知的生産性向上：課題解決、新しい挑戦には  
必ずNo（否定や拒否：意見相違）が発生する。  
コミュニケーション問題の発生が、働きやすい環境づくり  
：理解、承認、信頼、実現を阻害してしまう。**

**やる気がある、考えに自信がある人ほど**

**コミュニケーションは  
YESから始まらないといけない**

**と多くの方が考えており、結果的に**

- **Noと言われると嫌な気持ちになる**
- **組織や他者のせいにしてしまう**

**組織・チームで働く人の多くが、この問題について、**

- **自分が良いと思っていることが、なぜ？他者に否定されるのか？**
- **どのようにしたらNoをYesに変えることができるのか？**

**解決策を知らないため、離職やメンタル問題の原因にもなっている**

## ① 情報化力（言語化力）の重要性が増加しています

プレゼンテーション（プレゼン）が一般化  
モノゴトを進めるには、企画提案→質疑→合意が必要な時代

【伝わるコミュニケーション】ができる人材育成が必要

## ② 仕事の悩みランキング1位は、職場の人間関係

課題解決、新しい挑戦の為に、プレゼンの機会は増加しているが  
伝わらない=コミュニケーション問題は、人間関係の悩みの原因に

なぜ【伝わらないのか?】 なぜ【No】となるのか?  
明確な理解と具体的な対処へのサポートが必要

## ③ 個人まかせ、個別対応ではなく、支援サポートが必要

・ 情報化力：伝わるコミュニケーションの理解と習得  
・ No！に具体的に対処できる手法の習得  
によって、コミュニケーション問題の解決を支援

## ④ 組織・チームで課題解決、挑戦ができる環境をつくる

多様な経験と知識を効果的に引き出し、活用しながら  
課題解決、新規企画アイデアを出して実行、実現する

①～④を、講義&体験型で理解・手法を習得します。

# じぶんワークBiz 受講カリキュラム

## 情報化力（言語化力）とは、何か？

お客様、組織・チームに自分の話を聞いてもらえること

## Noから始まるコミュニケーション

NoをYesにする過程が、コミュニケーションの本質

## 自分ゴト化が、モノゴトを前に進める

テーマを抽象的に理解し、他者の欲求を理解した上で伝え、まとめる力 ➡ 自分ゴト化

## 創造的な業務の進め方とは？

まず考えるのではなく、借りてくること

多様な人々の経験や能力を引き出し、見える化、仕組み化する力 ➡ 組織の縦割り解消

Copyright (C) じぶんワーク All Rights Reserved. 2025

## じぶんワークBiz：研修カリキュラムと研修内容

### 研修カリキュラム

- ①モノゴトを前に進め、ピンチをチャンスに、チャンス的成果に変える。  
組織、チームにおけるコア人材像の理解
- ②創発・共創的な環境とルール、手法の必要性の理解
- ③仕事や業務をジブンゴト化して考え、伝えることの重要性の理解
- ④仕事や業務をジブンゴト化し理解、伝える手法と技術
- ⑤Noから始まるコミュニケーション。  
意見や行動の違いが生まれる本質的な事由とダイバーシティの重要性の理解
- ⑥意見や行動の違いを創造的に統合し、解決するための手法と技術
- ⑦抽象度の操作と創造性の関係性の理解
- ⑧個々の未来【本当に成し遂げたいこと】を見える化し「今やるべきこと」に  
気づき、具体的に実現、実行する為の仕組み化までを実践
- ⑨グループ内での⑧の共有と共感：実体験によって、研修内容の実用度を確認

### 独自の研修ツールを使った

(欲求カード・ひらめきダイス)



(じぶんワークシート)



講義+個人とグループワークにより、誰もが集中力を維持できる。受講後から実践可能な実用度の高い研修を受講いただき、

●Noから始まりYesにする手法

●創造的な業務の進め方

を習得していただきます。

## じぶんワークBiz：階層別の研修カリキュラム対応表

内定者	若手人材	中堅人材	管理職	創造的部門	具体的な理解・習得内容
					①創発・共創的な環境とルール、手法の必要性の理解
					②仕事や業務をジブンゴト化して考え、伝えることの重要性の理解
					③仕事や業務をジブンゴト化し理解、伝える手法と技術
					④意見や行動の違いが生まれる本質的な事由とダイバーシティの重要性の理解
					⑤意見や行動の違いを創造的に統合し、解決するための手法と技術
					⑥抽象度の操作と創造性の関係性の理解
					⑦プレゼン力の向上の為の抽象度操作手法の習得
					⑧未来から今を考え「今やるべきこと」を見える化・仕組み化する
					⑨チーム・組織の知的生産性を高め創造的に仕事を生み出す為の手法と技術

Copyright (C) じぶんワーク All Rights Reserved. 2025

作成日 年 月 日 作成者：

### <カリキュラムスケジュールと受講者数>

- ・ 3時間版・半日版・1日版のカリキュラムを用意しています。
- ・ 10名~60名程度 ※60名以上も対応できます。

### <研修テキストと教材>

- ・ オリジナルテキスト1式
- ・ オリジナル教材：欲求カード、ひらめきダイス、じぶんワークシート

### <運営形式>

- ・ 3名から5名のグループワーク方式、基本、途中参加、途中退席は不可
- ※必要に応じてオンライン研修にも対応しております。

### <必要機材>

プロジェクター、スクリーン、マイク、パソコン用電源（パソコンは持参します）

### <研修提供・講師>

トミーズクリエイション 代表

一般財団法人ひらめき財団 理事 日野富夫（ひのとみお）